

令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立岡崎小学校

作成日

令和 7年 3月 6日

1 教育目標

強いからだと豊かな心を養い、自ら課題を求め、よりよく生きようとする子供の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○全国学力学習状況調査及び県学習到達度調査において、特に「書く」領域での県平均値以上をめざす。 ○保護者アンケート質問2「子供にわかりやすい授業の工夫をしている」で、90%以上をめざす。	○保護者アンケート質問4「いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる」で、80%以上を目指す。 ○縦割りでの活動を、より増やしていく。	○毎日朝ごはんを食べてくる児童95%以上を目指す。 ○チャレンジランキング等を利用し体力の向上を図る取組を増やしていく。 ○設定を変えて、学期に一度は防災・避難訓練を行う。	○保護者アンケート質問1「教育活動や子どもの様子を家庭に分かりやすく知らせている」で、80%以上をめざす。 ○ゲストティーチャー等、多くの方々に学校に来ていただき、地域に開かれた学校をめざす。
重点目標に対する	○学力向上のベースとなる基本的生活習慣の定着に引き続き取り組んでいただきたい。 ○子供を主体とした学習活動を積極的に取り入れていってほしい。 ○読書環境の充実に努めてほしい。 ○自分の考えや思いをいえる機会を多くとってほしい。	○道徳教育を柱とし、児童の思いやりの心を育ててほしい。	○基本的生活習慣を身につける意味で、引き続き、生活リズム調べをお願いしたい。 ○防災・避難訓練の実施等、いろいろ取り組んでくださっている。 ○登下校等の不審者の対応等の指導もお願いしたい。	○地域・故郷について学ぶ機会をもっと増やし、自分たちが住んでいる岡崎地区を誇りに思う子どもたちを育ててほしい。 ○外部からの教育もいろんな方向から視野が広がり、いいと思う。
取組状況に対する	○これまで取り組んできた教科担任制の成果と課題を整理し、引き続き教科担任制について研究を進めてほしい。 ○授業を見る限り、子どもたちは積極的に学習に取り組んでいる。普段から教員が子どもたちを上手に指導している結果だと感じた。	○道徳科を中心に、様々な教育活動を通して、豊かな心の醸成にとりくんでほしい。 ○児童数が増加して今までの児童の縦割りの交流が薄く感じる。他に何か活動が有ればと思う。 ○フォーカスデザインの考えのもと、道徳の研究をさらに進めてほしい。	○生活リズム調べを継続的に行うことで、児童や保護者への啓発につながっている。 ○避難訓練・不審者対応訓練は、毎回想定を変える形で、引き続き実施してほしい。	○学校便りで、細やかな情報提供ができています。今後も続けてほしい。 ○自分たちが住んでいる岡崎地区のことを誇りに思える取組をもっと進めてほしい。
結果組にの対適する意見の検証	○工夫しながら、焦らず進めてもらえたらと思う。 ○教科担任制、一学年一授業のメリット、デメリットを検証し、最適な授業をお願いしたい。 ○教科担任制は学力面での効果が大きく期待できる。ただ、児童への指導、学習評価、教員の負担等の検証が必要である。 ○一学年一授業は教員の授業力向上だけでなく、教員の意思疎通に効果がある。	○道徳の研究は進められていると思う。	○生活習慣を身につけることが大事なので、生活リズム調べに加え、登校時間の遅い児童には、保護者とも話し合ってもらいたい。 ○10月末に行われる運動会は、熱中症予防のために効果的であると思う。	○ホームページでの情報提供は、個人情報に配慮しつつ、更新頻度を高めてほしい。 ○岡崎地区のことを学習する機会を継続して設けてほしい。 ○ゲストティーチャー、学習ボランティアは積極的に活用できている。
改善年度に向けた意見	○授業では「書く」活動と共に、それを表現(発表)する活動を有効に取り入れてほしい。 ○読書タイムを継続するとともに、司書の配置を含め、読書環境の充実を図ってほしい。 ○本を読むことで培われる「読む・書く」の基本の大切さを子どもたちに伝えてほしい。	○ゲームやYouTube、SNS等それらに関わる時間が増え、勉強時間の減少や友達に関わる時間も減り、いじめにつながると思う。低学年からでも、デジタルに関わるメリット・デメリットを出前授業等で啓発してほしい。	○ICT機器の有効活用とともに、SNSの危険性を学習する機会を設けてほしい。 ○デジタル機器の授業の活用は、低学年からよくできているように感じられる。しかし、不慣れな教員のオーバーワークにつながるのではという心配を感じる。 ○体力測定を3種類ほどに絞り、そのデータをもとに楽しく運動できるものと考えたらどうかと思う。	○家庭・地域と積極的な連携を図れるよう、情報発信を工夫してほしい。 ○コロナ禍以前に比べると、ゲストティーチャーの活動が活発でないように感じる。もっと地域の団体に声をかけてもいいのではないか。

3 その他のご意見

○現在の状況から、ICT機器を使っている授業が増え、その活用状況が子どもたちの将来の鍵を握っていると言える。だからこそ、マイナス面を教える必要性を感じる。
○大規模校になってきているので、児童も担任の先生以外の先生に対しての接し方がわかっていないように感じる。(先生方も同様)
○HPの一部の更新がR4年で止まっているので、整理した方がよい。多くのページは更新されていてわかりやすい。